


監査報告書

令和4年6月2日

社会福祉法人比内ふくし会
理事長 佐藤 剛 様

監事 仲谷正一 

監事 畠山豊 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行及び社会福祉法人比内ふくし会の財務状況について、監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその概要

- (1) 各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めました。
- (2) また、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。
- (3) 以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討いたしました。
- (4) さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類及び財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務に関しては、法令又は定款に基づき適正に遂行しているものと認めます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 経営改善の取り組みについて

- ① 令和3年度は、外部監査機関からの指導を受け、経営改善に向けた一定の努力が成果として示されております。
- ② 介護収入面では、入居系サービスの増収が確保されているが在宅系サービスでは、新型コロナウイルス感染の拡大によることや利用定員の見直しによる利用者の減少により減収となり、全体として前年度より介護報酬が減収となっております。
- ③ しかし、人件費を見るとその割合は前年度82%に対して令和3年度は79%、金額にして50,135千円の減となり、人員の再配置の効果が表れております。
- ④ また、16事業所のうち9事業所で前年度より増収となっており、全事業所において経営改善の意識向上が図られてきております。
- ⑤ 今後、借入金償還の増加や諸物価の上昇による経費増など厳しい経営状態が予想されるため、さらなる経営改善に努められたい。

(4) 現金・預金の管理について

現金及び普通預金通帳、積立預金通帳を照合した結果、適正と認めます。

(5) 入所者の預り金について

入所者の預り金は、現金、預金通帳、金銭出納帳等適切に管理されていると認めます。

(6) 安全・安心の施設への取り組みについて

今年度は、コロナ禍の中での施設の運営を組織一体となって、乗り越えました。今後も更なる安全・安心な施設実現に向けて取り組みいただきたい。

以上